

古文書を読む会学習記録

作成日 平成27年 8月27日

開催日	平成27年 8月27日	時 間	10:00～12:00																						
場 所	金沢公会堂3号室	出席人数	14名																						
講 師	真田雅行氏	作成者	山根美智子																						
テーマ	第二学習 ジョン万次郎帰朝記事⑧																								
概要	<p>『土州人漂流記』を読む。</p> <p>これは前回までの『土佐国漂流人 帰朝紀事』と同様に中浜万次郎の漂流噺のひとつである。</p> <p>この間、嘉永5～7年だけでも、長崎にて最初に出版された『満次郎漂流記(これだけが木版刷り)』や『漂異紀略』をはじめとして『漂客談奇』などなど各種各様に改題され、写本から写本を重ねて流布していったものは20種を超えるものがある。</p> <p>『土州人漂流記』の写本がなされた嘉永7年は、3月3日の日米和親条約締結を皮きりに日英和親条約締結、翌年の日露和親条約調印と続き、日本は一足跳びに開国への道を突き進んだ時期である。このことは万次郎の漂流噺が単なる冒険譚としてだけではなく時代の要求に応えるかたちで人口に膾炙していった事を窺わせるものである。</p> <p style="text-align: center;">以下本文</p> <p><万次郎と共に漂流した人々></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">土州宇佐浦鯉船</td> <td style="width: 10%;">船頭</td> <td style="width: 10%;">伝蔵</td> <td style="width: 10%;">45歳</td> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">} 兄弟</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水主</td> <td>重助</td> <td>年齢不詳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>"</td> <td>五右衛門</td> <td>27歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>"</td> <td>虎右衛門</td> <td>38歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>炊</td> <td>万次郎</td> <td>26歳</td> <td>(年齢は帰国時)</td> </tr> </table> <p>安政12年正月5日延縄漁に出漁→7日から荒天に遭い船を破壊され漂流→12日暮れ方に無人島に上陸→5月初旬沖合の米捕鯨船に救助される→11月オアフ島に着船→その間重助は病死、伝蔵と五右衛門は日本帰国を試みたが、再度遭難、紆余曲折の末オアフ島に戻る。虎右衛門はオアフ島にそのまま滞在、一方万次郎は船長と共に一人アメリカに渡る。</p> <p>(文中にはオアフ島、アメリカ共にその場所の気候風土やひとびとの気質などが日本と比較して描かれている)</p>			土州宇佐浦鯉船	船頭	伝蔵	45歳	} 兄弟		水主	重助	年齢不詳		"	五右衛門	27歳		"	虎右衛門	38歳		炊	万次郎	26歳	(年齢は帰国時)
土州宇佐浦鯉船	船頭	伝蔵	45歳	} 兄弟																					
	水主	重助	年齢不詳																						
	"	五右衛門	27歳																						
	"	虎右衛門	38歳																						
	炊	万次郎	26歳	(年齢は帰国時)																					
次回予定	平成27年9月10日 10:00～12:00		於:金沢区民活動センター																						
	第一学習 永嶋家文書⑨																								